

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 <input checked="" type="checkbox"/> 位置付けられている計画等または該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1~2個記入してください。											整理番号	031						
事務事業名	読み聞かせボランティア養成事業費				補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	一般会計	款	項	目	事業			
担当部	教育委員会	担当課	図書館	担当係	奉仕係										10	5	12	5
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)					根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称:)											

2 事務事業の概要 <input checked="" type="checkbox"/> 予算事業全体について記入して下さい。											
対象	読み聞かせに興味のある方					内容・手段	フリーアナウンサー等の講師を招き、年2回(入門編・スキルアップ編)の研修会を開催する。併せて、県立図書館の出前講座(県予算)にも申込を行い、研修の充実を図る。				
目的	当該事業実施により図書館ボランティアに興味を持つ方が増え、当館のボランティアとして登録いただくことで、読み聞かせ(特にブックスタート事業)に携わるボランティア人数を充足させる。										

3 事務事業の主たる成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 数値目標の設定が困難な場合は、文言目標でも結構です。なお、設定が困難な事業は空欄とし、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	参加率	単位	%	目標値	90	目標年次	令和4	年度	指標及び目標値設定の考え方(または設定できない理由)	個人登録ボランティアの獲得が最終目標ではあるが、まずは来ていただくことが重要なので、参加率を指標とする。

4 事務事業の実績 ①				2年間の主な事業内容(実績)											
平成29年度				前年度(平成30年度)						今年度(令和元年度)					
決算額	内訳	特定財源	円	①茨城県立図書館出前講座 → 定員40人 参加者28人						①茨城県立図書館出前講座 → 落選につき実施できず					
69,801	円	一般財源	69,801	②初心者向け読み聞かせ講座(全3回) → 定員40人 参加者39人						②読み聞かせ講座(初級者向け・上級者向け) → 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※開催直前の中止のため、資料作成料の支払あり。					
目標に対する実績値			34												
(住民一人あたりの行政コスト)			1												
平成30年度															
決算額	内訳	特定財源	円												
69,650	円	一般財源	69,650												
目標に対する実績値			84												
(住民一人あたりの行政コスト)			1												
令和元年度															
決算額	内訳	特定財源	円												
14,923	円	一般財源	14,923												
目標に対する実績値			0												
(住民一人あたりの行政コスト)			0												

5 担当課評価 ② <input checked="" type="checkbox"/> 実施したことによる成果や課題を記入してください。	
成果	目標未達成
成果内容分析	平成30年度から受講対象者を当館に登録されているボランティアだけでなく、一般向けに拡張。当該年度の講座を機会に新たに2名のボランティアが登録者となった。講座を機会として新規ボランティア獲得に結び付きそうである。
課題	ボランティアの中には、読み聞かせ以外の活動をしており、読み聞かせ研修会への関心が薄い方もいる。それが過去の参加率低迷の理由であった。そこで、対象者を一般向けにあらためた。定員を登録ボランティアの人数ではなく研修に相応しい人数ということで40人とした。そのため、平成30年度は参加率が上昇している。令和4年度には、この算式による参加率を90%にしたい。また、ボランティア不足の解消も引き続きの課題である。

6 担当部長評価 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 担当部長で協議のうえ、評価してください。	
事務事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	ボランティアの高齢化が進んでいることから、新規ボランティアの獲得が喫緊の課題となっている。そのためにも、ボランティア養成講座は必須であること。及び講座を開催することで図書館の機能を知ってもらうことができ、図書館のPRにも繋がることから事業の継続は必要である。

8 行政改革懇談会(市民)の意見	
担当部長評価のとおりでよい。教育を通して子どもたちの文化レベルを上げ、将来の常総市を担う人材を育てたい。そのためにも、ボランティアの不足解消や活動の場の拡大に努めていただきたい。ただし、ボランティアの高齢化への対応や若い人の参画について具体策を検討し、従前どおりではなく、他の事業と併せて、発展的な運用をすべきである。	

9 最終評価(行政改革推進本部) ④	
事務事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
評価理由	読み聞かせ事業は、子ども達が本に親しみ、本好きな子どもを育てるためのきっかけとなる事業である。ボランティア養成事業はスキルアップのため必要であり、また新会員を増やすためにも継続すべき事業とする。

7 実施計画 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間について、何を・どの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																							
年度	令和2年度				令和3年度				令和4年度														
事業内容	①茨城県立図書館出前講座 → 毎年応募することとする				①茨城県立図書館出前講座 → 毎年応募することとする				①茨城県立図書館出前講座 → 毎年応募することとする														
	②読み聞かせ講座(初級者向け・上級者向け) → 各1回開催予定 それぞれ別の講師を招くことで、両方の参加を促す。				②読み聞かせ講座(初級者向け・上級者向け) → 各1回開催予定 それぞれ別の講師を招くことで、両方の参加を促す。				②読み聞かせ講座(初級者向け・上級者向け) → 各1回開催予定 それぞれ別の講師を招くことで、両方の参加を促す。														
	成果指標	指標名	参加率	単位	%	目標値	90	指標名	参加率	単位	%	目標値	90	指標名	参加率	単位	%	目標値	90				
	予算額	歳出	計	63	千円	歳出	計	63	千円	歳出	計	63	千円	歳入	計	63	千円	歳入	計	63	千円		
	歳入	特定財源		千円	歳入	特定財源		千円	歳入	特定財源		千円	歳入	一般財源		63	千円	歳入	一般財源		63	千円	
		一般財源		63	千円		63	千円		一般財源		63	千円		計		63	千円		計		63	千円

10 事務事業の改善点と理由 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画のみ作成する場合も記入してください。	
事業内容	